

介護  
療法  
総案

# 要支援者保険外しやめ

認知症の人と家族の会 厚労省に要請



認知症の人と家族の会は23日、国会で審議会を開き、「安心できる介護保険制度を求める署名」を厚労省の有岡宏審議官に手渡す。認知症の人と家族の会の高見国生代表理事（右から3人目）と、厚労省

の給付対象としている「要支援者」などを2万1383人案に関して、要支援者の介護保険外しをやめ、引き続き介護保険

の給付対象としている「要支援者」などを2万1383人

の署名を添えて、厚労省の原勝則老健局長に申し入れました。署

名は4月22日に提出し、た分を合わせると8万5727人分となりま

す。

申し入れたのは、高見国生代表理事（右から3人目）と、厚労省

登志子副代表理事ら。

高見代表は「予想を超えた署名の集まりとな

っています。この8万

5000筆の重みを受

けとめてほしい」と述べました。

要望書では、要支援者への給付継続のほか、介護保険利用料の

2割負担中止、特別養護老人ホーム入所者を要介護3以上に限定しないなど5項目を求めています。

また高見氏らは、認

知症男性の列車衝突死

亡事故について名古屋

地裁・高裁が家族に賠

償を命じた判決に関して、「認知症の人の徘徊（はいかい）は防ぎきれない。当事者どうしの責任にするのではなく、公的な仕組みとして社会的な救済制度を設けるべきだ」として早急な検討を求めました。

要望書では、要支援者への給付継続のほか、介護保険利用料の